

医学部看護学科 卒業研究の評価の視点

1. 評価対象

- 1) 卒業研究計画：学生は、看護学科が指定する期間内に研究計画を立案・提出する。
- 2) 卒業論文：学生は、看護学科が指定する期間内に卒業論文を提出する。
- 3) 卒業研究発表：学生は、看護学科が主催する卒業研究発表会で卒業論文を発表する。
- 4) その他：学生は主体的に 1)～3)に取り組む

2. 評価方法

- 1) 学生の指導教員（所属する領域の教員）1 名以上が、1－1)～4)を通して、研究のプロセス全体についての評価を行う。

3. 評価基準

- 1) 看護学の研究として学術的・実践的意義がある
 - ・ 先行研究は十分にレビューされ、研究の背景と課題が明確である
 - ・ 看護学としての重要な知見を有している
 - ・ 看護実践に役立つ知見を有している
- 2) 研究の厳密性は保たれている
 - ・ 研究目的が明確に示されている
 - ・ 目的に適した研究方法が用いられている
 - ・ 目的に適したデータ収集が行われている
 - ・ 目的に適した分析方法が用いられている
- 3) 論文を論理的に構成し、適切に記述している
 - ・ 文章や図表を用いて結果が適切に示されている
 - ・ 考察は結果に基づき論じられている
 - ・ 研究背景から結論まで論理一貫性が保たれている
- 4) 研究倫理が遵守されている
 - ・ 本文中に倫理的配慮に関する十分な記述がある
 - ・ 調査研究では、同意取得、匿名性の担保等の倫理的配慮が適切に行われている
 - ・ 文献研究では、対象文献の出典が明示されている
- 5) 文献を適切に引用している
 - ・ 引用文献ならびに引用箇所が本文中に明示されている
 - ・ 引用文献、参考文献がリストに明示されている
- 6) 卒業論文発表会に積極的に参加できている
 - ・ 発表内容は分かりやすく整えられている
 - ・ 質疑に対する応答は論理的かつ明解である
- 7) 研究全体に主体的に取り組んでいる
 - ・ 自ら課題意識をもち、テーマ設定に主体的に関与している
 - ・ 計画的に研究を遂行できている
 - ・ 真摯な姿勢で研究に取り組んでいる
- 8) 所定の書式や期日、提出方法が守られている（書式・期日・提出方法に関しては別途指定あり）